

今日のトピック 米国の債券市場（2016年8月） 良好なパフォーマンスを示す地方債

ポイント1 国債利回りはほぼ横這い 利上げ期待が後退

- 7月の米国10年国債利回りは、6月の雇用統計が良好だったことを受けて、一時1.6%近くまで上昇しました。その後、連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げ時期が示されなかったことなどから、再び低下。結局、月末の10年国債利回りは1.5%弱と、前月末比ほぼ横這いとなりました。

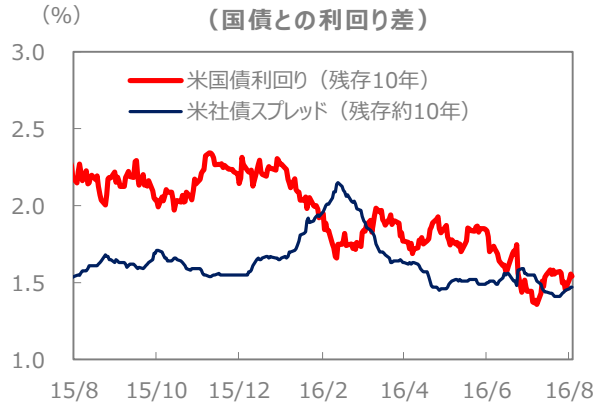
ポイント2 地方債パフォーマンスは良好 社債スプレッドは縮小

- 米社債スプレッド（国債と社債の利回り差）は、小幅に縮小しました。英国の欧州連合（EU）離脱選択後の危険回避の動きが短期間で鎮静化したことによるものです。
- 地方債も堅調に推移しています。なかでも、課税債のパフォーマンスが良好です（地方債は、米国の居住者にとって利金に対する連邦税などが免除される非課税債と、免除されない課税債があります）。安全性が高く、利回りも相対的に高いことが評価されていると考えられます。参考までに、直近の利回りは3.8%（地方債40種の平均利回り）と、ハイイールド債の6%強には及ばないものの、米10年国債を上回っています。

今後の展開 引き続き堅調な展開を予想

- 米国経済は緩やかな成長を続け、物価は低水準で推移する見込みです。このため、利上げのペースは極めて緩やかになる見通しであり、長期金利は落ち着いた推移が予想されます。こうしたことから、地方債、社債は引き続き堅調な展開が見込まれます。

米国債の利回りと米社債スプレッド
(%) (国債との利回り差)

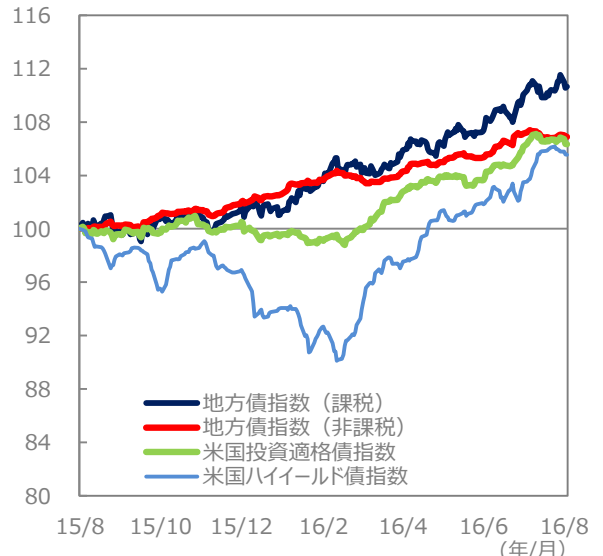


(注1) データは2015年8月3日～2016年8月3日。(年/月)

(注2) 米社債スプレッドはパークレイズ・米国投資適格社債インデックスによる。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(ポイント) 米国社債・地方債指数



(注1) データは2015年8月3日～2016年8月3日。(年/月)

(注2) 投資適格債、ハイイールド債指数はBloomberg指数、地方債指数はS&P地方債指数による。2015年7月末を100として指数化。リターンは課税前のペースで計算。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここもチェック! 2016年8月 1日 好調な米国の「投資適格債」市場 (米国)
2016年7月28日 米国の金融政策 (2016年7月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。